

園長だより

2024年6月14日

園長 澄川忠男

◆掲示物や制作物について

参観日などで園に来られるときには、教室内の制作物を見てもらうことができます。日頃は、子どもたちの作品（制作物）をできるだけ外に面するガラスなどに掲示するようにして、みてもらっています。



左と真ん中の2枚の写真は、もも組のものです。もも組では、「時の記念日」に関連して、自分自分の「あじさい時計」を作ったようです。時計の学習は、小学校で行いますが、園では、子どもたちに何かの時刻を知らせるときに「長い針が4のところまでね」というような声掛けで、時計に興味を持つようにしています。

右の写真は、さくら組みんなで作った「あじさい大時計」です。これは、個人作品ではなく、みんなで力を合わせて作ったようです。前側にある青色の部分は「池」だそうです。作っているうちにアイデアが出て、「それいいね!」という感じで作っているようです。

これらは、子どものアイデアによって作られる作品（制作物）です。園内にはもう一種類の掲示物があります。



左はうめ組、真ん中はたんぽぽ組、右はつぼみ組です。これらの掲示物は、子どもたちが行動する時の手助けとなるような掲示物です。教師が作ったものです。

左と真ん中は、子どもたちが行動する時に、イラストを見て次の行動をしたり、教師が子どもたちに全体の流れやゴールを説明したりする時に使います。言葉（音声）で聞くと覚えきれません。イラストがあると、それを見て思い出すことができます。右は、○と×で「みんなが生活するとき守ってほしいこと」を知らせています。これは、後片付けの仕方を示しています。

園に来られた時は、こんな2種類の掲示物を意識してみただけだとありがたいです。今度、短大生も季節の掲示物を園に来てはってください。将来に向けての一つの実践です。その時に少し交流もあるようです。楽しみです！

※17日（月）～20日（木）の間、出張でいません。子どもたちに会えないのがさみしいです。先生方と一緒に頑張ってくださいね！